

はいから世代のための資産運用

Vol.2

前号より始まった『はいからマネー講座』。先行き不透明なこの時代、超低金利や年金制度など、マネーにまつわる不安を感じている読者の皆様は多いのではないのでしょうか。そこで今回、はいから編集長の青野が、金融のプロである株式会社NNIの社長・新邦昭氏に、知っておきたい金融の知識、はいから世代のための資産づくりや資産運用についてのお話をぜひ伺ってききました。



はいから編集長 青野秀俊



株式会社NNI社長 新邦昭氏 (あたらし・くにあき)

埼玉県出身。早稲田大政経卒後、74年大正海上火災保険(現三井住友海上火災保険)入社。地方の支社、本社営業、社長室企業革新推進部長などを歴任。98年に退社し、株式会社NNI(www.nni.ne.jp)を設立する。著書に『保険革命』『新保険革命』(いずれも第二海援隊発行)

青野 (以下青) ちょうど今から10年前の1998年、金融ビッグバンが始まった日に社長は株式会社NNIを創業されました。どんな夢をもって会社を立ち上げたのですか？

新氏 (以下新) 私は当時の大正海上火災保険(現三井住友海上火災保険)に入社し、24年間在籍、外国為替管理法(外為法)の改正や損害保険の保険料の自由化が行われた98年に独立しました。誰にも負けない個性ある会社経営をしたいと思い、50年計画というものを立てました。当時、私は47歳だったのですが、97歳までの50年間に様々な夢を書き込みました。保険会社にいると、どうしてもメーカーサイド立ってしまいがちで、消費者サイドに立ち、保険のアレンジをしたいと思いました。欧米では、購買代理のビジネスモデルが既に確立されていました。しかし、日本ではそういった存在がほとんどなく、お客様の立場で保険をアレンジしたい。さらに海外に進出している日系企業の保険手配のバックアップまで

したいと考えました。現在、香港、上海、バンコクに進出しています。

青 現在、保険と運用のアドバイザー、2つの仕事をされていると思うのですが、消費者目線という所を極めていきたいというのが原点なんですか？

新 そうですね。消費者目線で物事を捉えるという事と、もう一つは海外から日本を冷静に、できるだけ客観的に見る事です。日本と海外の違いや特徴をしっかりと捉えていきたいと思っています。

青 さて、昨今日本人の平均余命が延びていきますね。(60歳の平均余命は女性で約88歳、男性で82歳と、定年を迎えてから何十年も切り抜けていかななくてはならない世の中です。社長がお考えになる、理想的なゆとりのある老後の資金とはどういったものなのでしょうか？

新 はいから世代の人は、これからまさしく資産運用もしていくのだと頭を切り換えていくことが大事だと思います。時代が変わり、

定年後20年から30年の長い時間が残されているのです。既に20年以上前に成熟社会に入ったヨーロッパの人々の資産運用の考え方が我々はいから世代の参考になります。海外と日本、それぞれのよい所や特徴などを紹介しながら一般消費者に判断材料を提供したいというのが私共の基本スタンスです。

青 社長がお考えになる、ゆとりを持って生活できる理想的な月額的生活費は？

新 厚生労働省が統計数字を出しているのですが、ゆとりのある生活をしようとするとして、夫婦2人の場合、38万円が必要になります。年金が平均24万円とのことですから14万円が毎月不足することになります。退職金を2500万円お持ちのケースで考えてみましょう。例えば60歳の方が、毎月14万円を2500万円を取り崩していくとしますと、70歳の時に退職金2500万円を使い切ってしまうことになります。そうしますと人の平均余命に辿り着く前に退職金が無くなってしまいます。お金の寿命が人の



3万円が1億円!?

まるで夢のような話ですね

運用していきたいという方もいますし、ご年配になりますと今持っている資産がある程度まとめて投資したいという方もいます。世代によって投資の仕方が変わると思いますが、

新 そうですね。年代によって違いますし、また、男女でも違ってきます。男性の方ですとコツコツ積み立てるのが苦手で、一括でやりたいという方が比較的多いです。一方で女性の方ですとコツコツ積み立てることが得意という方が多く、かなり年配の方でも例えば70歳からでも毎月の3万円の積み立てを始め、2世代で積み立てをつないでいく方法をとる方もいらっしゃいます。また、まとまった資金をお持ちの方は、例えば70歳で元本が保証された一括タイプの金融商品が欲しいという方もいらっしゃいます。ご自身のライフスタイルや、価値観や年齢により選択される金融商品が違ってきます。

青 前回、私もセミナーに参加しまして、投資においての「複利の力」というものが、すごく大きいと感じました。

新 複利の力はインシュタインが「数学史上最大の発見だ」と言っています。複利の



複利の力を利用すると 3万円が1億円になるんです!

寿命より先に尽きてしまうのは辛いですね。**青** それは心配ですね。はいから世代も色々な投資をしていらっしゃる方がいます。そこで、前回のマネー講座で述べていた「不労所得」。働かないで入ってくる収入がキーワードになりますが、それはどういったことか教えてください。

新 日本人の皆様は、勤勉が大事だということと「不労所得」という言葉を嫌う傾向があります。しかし、毎年年収が上がる時代は終わり、逆に年収が下がる時代になってきます。これが成熟社会の特徴なのですが、ヨーロッパの人たちはこのような厳しい環境の中で、「不労所得」を巧みに作ってきています。生活の知恵として自分も働け、お金にも働いてもらう。そのようにして「不労所得」を作るのです。特に「複利」でお金に働いてもらうと我々が想像する以上に資金が貯まっています。

青 私共の読者は50代もあれば70代の方もいます。50代の方はまだ現役なので毎月積み立てて

「はいから世代に最適な資産運用とは？」に関する詳しい資料をご希望の方は巻末のハガキにてお申し込みください。

● お電話のお問合せは ●

☎03-3517-6613

※「はいからを見た」とおっしゃってください。

株式会社NNI 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-24日本橋東洋ビル
ホームページアドレス http://www.nni.ne.jp